



鳥獣被害対策に水土里情報を活用した事例について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネットかながわ、神奈川県、南足柄市

取組概要

内容: 県西部に多い鳥獣被害の調査と対策の検討に当たり、水土里情報システム・GPSモバイルを利用し、継続的な取組を開始。

- 経緯:
- ①南足柄市など県西部では、サル、イノシシ、シカ等による農作物の被害が多発。
 - ②鳥獣被害は広域にまたがるケースが多いため、神奈川県県西地域県政総合センターが主導し、平成24年度に広域的・効果的な対策の検討を開始。
 - ③現在、水土里情報システムに入力された鳥獣被害のデータを関係機関が共有し、GPSモバイルも活用しながら、現場での調査と対策の検討が行われているところ。

現地調査

The screenshot shows the '水土里 MapsViewer' application. The main map displays bird damage data points for H21-H23 (Inoshishi, Sika) and H24 (Inoshishi, Sika). A legend in the top-left corner of the map area identifies the symbols: yellow circles for Inoshishi (H21-H23), red circles for Inoshishi (H24), yellow circles with a red outline for Sika (H21-H23), and red circles with a red outline for Sika (H24). A red '他' (Other) label is also visible on the map.

An 'H24鳥獣被害調査' (H24 Bird and Beast Damage Survey) data entry window is open on the right. It contains the following information:

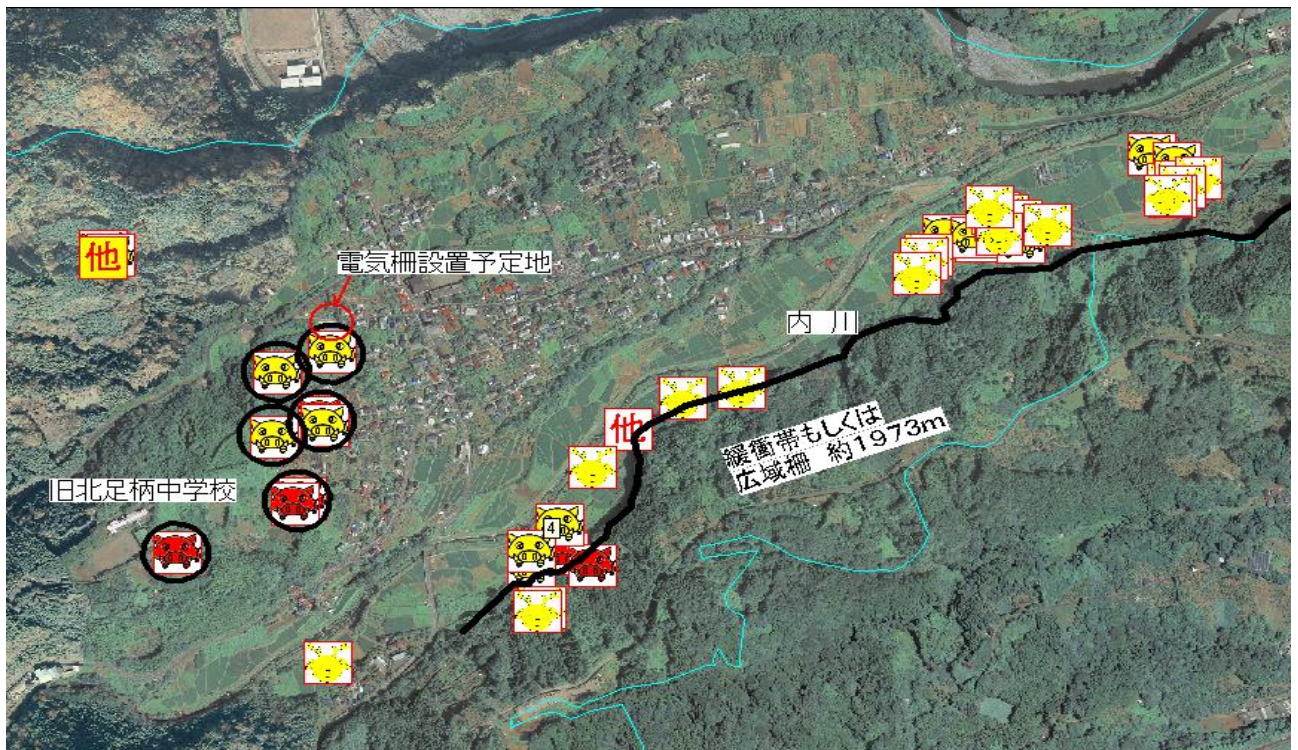
属性項目	値
字	
地番	2346-9
圃場の種類	田
耕作状況	耕作有
被害作物	稲
獣害の種類	イノシシ
被害状況	食害
被害率	中(40%)
柵の有無	無
柵の管理状況	
ワナの有無	無
獣の足跡	無
周辺状況	ぬた場
調査日	2012/10/18
備考	

Buttons for '更新' (Update) and '閉じる' (Close) are at the bottom of the window.

期待される効果

- ① 加害鳥獣や被害作物の種類、位置、面積、周辺状況等を継続的に把握することにより、広域的な対策の検討が可能。
- ② 関係機関が被害情報を共有し、各種対策案を総合的に調整することにより、効果的な取組が可能。

『被害状況調査に基づく対策』(一案)



今後の活用予定

鳥獣被害対策の広域的かつ効果的な取組を進めるため、システムを利用したより広域的な状況の把握・共有・検討と試験研究機関への情報提供等に活用する予定。

■お問い合わせ先

神奈川県土地改良事業団体連合会 業務部 事業課	046-231-3242
神奈川県県西地域県政総合センター地域農政推進課	0465-32-8000
農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添)	03-6744-2212(直通)